

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	4定	学校名	静岡県立伊豆伊東高等学校	記載者	池田 将章
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基本的生活習慣を定着させるとともに、社会性を高め、他人を敬愛する心を育てる	年間出席率 90%以上 生徒情報の共有機会を設定する。（年間10回以上）	A	A	○家庭との連携により就寝や食生活について自覚させるようにしたい。 ○個々の事情を配慮することに留意が必要である。
		認知したいじめについて、未解決の件数0件	A	A	○いじめを認知できたことが成果である。 ○早期対応により、問題が長期化しなかったことは評価できる。
イ	基礎・基本の理解を深め、確かな学力に結び付けるとともに、個々の特性・志向に応じた学力の向上を目指し、授業改善を図る。	授業評価アンケートの授業に対する評価8項目のうち、A評価の割合 75%以上が5項目以上	C	C	○実生活に必要な読み書きの能力や計算力、社会の常識等を授業と結び付けて学ばせてあげたい。 ○個々の生徒に合った対応をお願いしたい。 ○数値が低かった学年は学校に対する期待値が高いという見方もできる。手厚い接し方が必要かもしれない。
		学力系5種目のコンクールでの平均得点率が70%を超えるものが3種目以上	A	A	○コンクールでは成果が出ているので、授業評価と正の相関がでるような取組を期待したい。 ○モチベーションがあがるコンクールなどを継続してもらいたい。
ウ	自己や職業に対する理解を深め、自立した生活を送る意識や進路意識を育てる	各学年の生徒の就業率(アルバイトを含む)が70%以上	C	C	○アルバイトをしながら生徒が自己の適性を考えられると望ましい。アルバイト先の方々からの情報も得て、良い評価に結び付けられたら自信になると思う。 ○個々の生徒の事情に応じた働きかけが必要である。 ○アルバイトしていないときの時間の使い方が知りたいです。 ○地域を巻き込んで、就業しない生徒や就業できない生徒の抱えている悩み等が解決できるようにしたい。
		アンケートで、自分の将来に対する、はっきりした夢や希望を持っていると答える生徒60%以上。	A	A	○生徒にどのような夢や目標があるのかを、言ったり書いたりするなどさせる機会を継続的に作ってもらいたい。

様式第5号

エ	学校行事、生徒会活動、部活動などへの参加を促進し、心豊かな生徒を育てるとともに、自己肯定感を向上させ、自分らしさの創出を図る。	主要な学校行事、東部定時制合同文化祭への参加率 85%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○自尊感情や自己肯定感は、能動的な体験から高まるのでいろいろな立場に立たせて自信を持たせてもらいたい。 ○数値だけで判断するのは難しいが、仕事もある中でよく参加しているように見える。 ○「学校行事への参加率を上げる」という課題感を生徒主体で考えられるとよい。
オ	健康、安全な生活を送るため、心身の自己管理能力を向上させる	朝食摂取率 50%以上 10 時前起床率 70%以上	B	B	○家庭との連携により、夜の SNS やゲームを控えさせたい。
		交通事故件数が 3 件以内 交通違反件数 0 件	A	A	
カ	定時制教育に対する理解を深める	保護者アンケートで、学校に対する満足度 80%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との交信がよくできていることが読み取れる。 ○保護者にとって話しやすい先生というのが大切である。
		定時制関連の記事が新聞等に掲載される件数年間 5 回以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○メディアの取材や HP 等での情報発信が、生徒の学校生活のモチベーションアップにつながるとよい。 ○生徒のやる気につながるような情報発信を引き続きお願いしたい。
キ	業務改善により教員の豊かな教員人生を確保し指導の質の改善をはかる	アンケートで学校が楽しい、授業がよくわかると答える生徒 80%以上	A	A	○ポジティブな回答が多いことはうかがえるが、学校が楽しくないと考えている少数意見に耳を傾ける必要がある。
		最終退庁時間内での退勤 80%以上、各職員の年休取得日数年間 16 日以上	B	B	○年休については、半日休暇や短時間での休暇取得を励行するとともに、休みの取りやすい職場の風土醸成を作っていくことが必要である。